

# TADAIMA RYUSOU

ただいま、りゅうそう。

vol.6 / 2026年2月号



## OKAERI

おかえりなさい

ただいま、おかえり。

## 目次 contents

遙か遠い静岡で、共に生きる	3
ネパール紹介	5
RYUSOUと生きる人 #11	6
RYUSOUと生きる人 #12	8
イベントレポート	10
RYUSOU ANIMAL FAMILY	11
チーム紹介(法人本部)	12
RYUSOU やさしいキッチン	13
RYUSOU インタビュー この場所で。	14
ほっこりエピソード 編集後記	15

### 静岡市の伝承話 乳母屋敷と又右衛門稲荷

県道草薙竜爪線の上長尾のバス停のところから山側にそって農道があります。このあたり一帯を乳母屋敷と呼んでいます。今川の殿様に、仕えた身分の高い乳母(母親に代わって乳を与える人)の屋敷がありました。この屋敷内に祀られているのが「又右衛門稲荷」です。今から百五十年余り前の明治の初め、ここに一軒の農家がありました。冬の寒い晩、一匹の年老いた狐が訪れてきました。いろいろの火で暖まると帰っていきます。毎晩来るようになりまし。ちょうどそのころ、家族の者が次々に病気になるっていったので、易者に占ってもらったところ「お稲荷さんをこの家で祀りなさい」と言われたので、ほこらを作って祀りました、すると病気はすっかり治りました。近所の人も、お参りをするようになりまし。特に大切な物を無くした時、お参りすると必ず出てくるそうです。この又右衛門稲荷は、竜爪街道から近いので竜爪山穂積神社に参詣される時、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

「ふるさと昔ばなしより」 ふるさと伝説 編集…いくみ



### 温もりの場所

## 遙か遠い静岡で、共に生きる

### 遠い国からの旅立ち

ヒマラヤの麓、ネパール。そこから遙か遠く、日本の静岡へ。  
ネパールのスタッフたちが日本で働くことになった理由は、家族を支えるためでした。ネパールでは、家族はとても大切なもの。みんなで助け合って暮らしています。あるスタッフは、自分の祖母の介護をきっかけに、もっと勉強したいと思って介護の仕事を選んだと言います。しかし、ここで私たちにあって驚きの事実があります。

ネパールには、介護施設がありません。介護士という仕事も存在しないのです。私たちが当たり前のようになっている「介護施設」が、ネパールにはない。ネパールでは、自分の家族は自分で看るのが当たり前です。おじいちゃん、おばあちゃんは、家族みんなで面倒を見ます。施設に預けるといって考え方がないのです。

では、なぜ彼女たちは介護の仕事を選んだのでしょうか。

「私にとって、高齢者というのは歴史や知恵、昔のことを教えてくれる大切な存在だから。それと、心を込めてする仕事をしたかったから」

「祖母の介護をした時、もっと知識があれば、もっと良いケアができたのに」

と。お年寄りへの深い敬意が、彼女たちを介護の道へと導いたのです。経済的理由だけでなく、家族を助けたいという優しい気持ちを持って、彼女たちは遠い日本へやって来たのです。

### 助け合いの文化

ネパールのスタッフたちが語る故郷の話は、私たちに多くのことを伝えてくれます。

ネパールでは、困っている人がいたら、みんなで助けると言います。ごはんが足りなくて困っている家があったら、食べ物を持って行ってあげます。それは、取引ではありません。

「足りるようになったら返してね」

という優しい言葉掛けと一緒に、そこには、相手への信頼と、お互い様という想いが込められています。

さらに、暇があるとご近所で集まり、一人暮らしの高齢者がいたら、美味しいものを作って届けるのだと言います。それが、ネパールでは普通のことなのです。この助け合う精神。昔の日本も、そうだったはずですよ。お醤油を借りに行ったり、おすそ分けをしたり。ご近所同士が助け合っていました。しかし、いつの間にか核家族が進み、地域の繋がりが希薄になった現代の日本。

ネパールの人たちは、助け合いを当たり前のこととして、生活の中で実践していると言います。竜爪園が「地域福祉」という言葉と共に取り組んできたことが、彼女たちの日常なのです。ネパールの人たちが暮らしの中で自然に実践している相互扶助の文化。それは、竜爪園が理想として掲げている地域福祉の、最もシンプルで美しい形ではないでしょうか。

彼女たちの文化を知ることが、私たちに大きな学びと気づきを与えてくれます。



介護業界全体が直面する人材不足。静岡県内でも、多くの施設が同じ課題を抱えています。しかし、竜爪園が海外スタッフの雇用を決めたのは、単に人手を補うためだけではありませんでした。

先代の理事長の「介護事業だけでなく、地域福祉をやらなくてはならない」という想いを受け継ぎ、竜爪園は常に新しい挑戦を続けています。海外スタッフの受け入れという決断の背景には、言葉の壁や文化の違いへの不安もありまし。しかし、それ以上に、この出会いが竜爪園にとって、そして地域にとって、大切な意味を持つという確信がありました。今回は、竜爪園の海外スタッフ雇用について特集します。

ネパールのスタッフと共に働く日本人スタッフの思いはどうだったのでしょうか？海外スタッフを迎えると聞いた時、日本側のスタッフたちには様々な想いがありました。言葉の壁、新しい働き方に不安もあったと言います。しかし同時に、海外の生活や、美味しいものを教えてもらいたいという期待もありました。

実際に共同生活がスタートすると、不安要素だった言葉の壁は、ChatGPTで翻訳したりすることで、すぐに解消されました。さらに、ゆっくり話したり、わかりやすい言葉に変換したり。同じ意味でも違う言い回しがあることを伝え、仕事以外の話もして、距離を縮めるようにしました。そして何より大切にしているのは、日本人外国人関係なく同じ内容・指示をすることを気をつけたことです。何かあった時も責めずに理由を聞いて、一緒に考えること。外国人だからといって特別扱いはいらない。一人のチームメンバーとして対等に向き合う姿勢が、信頼関係を築いていったのです。



### 決断と覚 から生まれた未来

海外スタッフの雇用を決めたのは、今後の人材採用環境が今以上に厳しくなることが確実だったからです。しかし、それだけではありませんでした。そう語るのは、法人経営の中で外国人雇用のノウハウを蓄積していきたいという、強い想いを持つ竜爪園の事務局でした。

不安を持ちながらの検討でしたが、特定技能の登録支援機関で信頼できる地元法人との出会いがあり、相談する中で、ネパール人の国民性が竜爪園に合うと判断し、外国人雇用を決断しました。

第一期生を受け入れた際には、宗教や文化をはじめ、食べ物や生活習慣など、不安や心配ばかりでした。しかし、実際に受け入れてみると、困ったことはほとんどありませんでした。何かあれば、契約しているネパール人が代表を務める登録支援機関からの支援も大きなよりどころとなりました。

最も重要視したのは、ウェブ面談でした。短い時間であるため不安は残ります。しかし、今まで竜爪園に来ていただいた方々は、どなたも優しく誠実な方々でした。それは間違いないです。

外国人の採用を始めて四年目の春を迎えます。存在感は益々増加しています。ルールを守ることができるため、言葉がある程度わかるようになれば、特に問題はありません。ご利用者やそのご家族からも、不安を感じる等のネガティブな意見を聞くことはありません。当初の不安や課題は、解消されました。

人材不足はどの業界も同じです。人材採用は経営の重要なファクターです。介護業界全体で海外スタッフの雇用は増加の一途をたどることは間違いありません。外国人の方々がいなければ、これからの福祉は成り立たないのです。地域にとっても、外国人が増えることは刺激になっていきます。



一緒に働く中で、日本人スタッフたちは気づかされることたくさんありました。努力すること、家族を大事にすること。言葉遣いも丁寧でご利用者に優しく接している姿勢に、自分自身も改めて関わり方を見直すきっかけをもらったと語ります。慣れない環境で前向きに学ぼうとする姿勢、外国で勉強しながら働く頑張り屋さんの姿に、尊敬の念を抱きはじめます。

嬉しいことを伝えて、笑い合った瞬間。困った様子の時に声をかけてくれた優しさ。大丈夫、できるよと励ましあう言葉。チームとして協力できていると感じる瞬間が、確実に増えています。

海外スタッフが加わって、職場の雰囲気は明るくなりました。フロア全体に笑顔が増え、職員同士で声を掛け合ったり、気遣いが増えました。ご利用者も、興味をもって声をかけ、安心して関わっている様子も見られます。

そして、日本人スタッフ自身も変わりました。チームで働くことの大切さを改めて感じ、誰に見られても恥ずかしくない行動と介助を心がけるようになりました。自分たちの接し方や言葉遣いがそのまま手本となる。その意識が、介護の質をさらに高めているのです。

ある時、地域の小学生から、この地域で働く外国人について知りたいとの要望があり、外国人が小学生と話し合いをおこないました。地域福祉の新しい形が、そこにありました。

外国人と地域社会というテーマは、長い時間軸の中で形成されていくものです。できれば家族の帯同や、結婚して子供が近くの小学校に通うなど、長い時間の中で育まれていくような、理想的な多文化共生の姿が生み出されることを私たちは目指しています。現在、この三年間で十名を超える海外スタッフが在籍しています。これから目指すのは、国家資格を取得した外国人職員が役職者になって、法人の中核を担うような人材づくりです。介護福祉士の国家資格を取得する職員が出ることも願っています。

### 国境を越えた家族

ヒマラヤと富士山。遠く離れた二つの国ですが、私たちは同じ空の下で、同じ想いを抱いています。ネパールで当たり前のように実践されている助け合いの文化が、今、竜爪園に気づきを与え、新たな息吹を吹き込もうとしています。国境を越えた出会いが、新しい家族の形と物語をスタートさせているのです。

この物語は、まだ始まったばかりです。ネパールのスタッフ、子どもたちが笑顔いっぱい地域の学校に通う。そんな未来の物語も、私たちは想像しています。

介護施設のないネパールから、介護大国日本へ。そして学んだ知識を、いつか母国に持ち帰る日を夢見て。介護福祉士の取得も目指している彼女たちの挑戦を応援していくこと。それが私たちにできる支え合いではないでしょうか。時間をかけて、ゆっくりと。でも確実に、国境を越えた家族の物語は、続いていくのです。



## ネパールってこんな国！

食



モモと呼ばれる餃子や、セルロティと呼ばれる米粉のドーナツ型の揚げ菓子が人気です。ごはん+カレー+おかずがワンプレートで出てくる、ネパールの定食タカリセットも定番の食事です。

祭



ネパールで毎年秋ごろに開催される「ティハール」は、動物や家族へ祈りをささげる盛大なお祭りがあります。ククル・ティハールでは、犬を讃える日があり、花輪をかけ、ご馳走を与え、日頃の感謝を伝えます。



みんなで助け合って生活しています！



## 巡り逢いが紡いだ今 もう一度ここで歩む

障がい者生活介護ソレーナ 生活支援員 稲葉 亜紀

令和4年4月ソレーナに就職した私ですが…実は竜爪園開園当初の初期職員でした。高校卒業後、介護経験のある方々から様々な事を学び、たくさんの経験をさせて頂きながら楽しい時間を過ごさせてもらい7年後結婚を機に退職。数年後、地元にある障がい者施設で働いてみないかとお話を頂き、介護経験しかない私で大丈夫かと不安で始めは清掃係からのスタートでしたが、出勤初日初対面の私を温かく迎え入れてくれたご利用者の優しさに救われた事が支えとなり、その後支援職員として、子育てと並行しながら約10年間働かせてもらいました。入所施設での支援は、多くのご利用者の様々な意向を受け入れる事が困難で、毎日「待っててね」「あとでね」がフロア内で飛び交い、職員間でのフォローが必要不可欠でした。障がい者支援を学んでいる中で、歩み寄り方や寄り添い方を少数対象で体験できたらご利用者の不安を減らせるのでは等と悩んでいた時、竜爪園が開所した通所型障がい者施設がある事を知り、ビビっと感じたのです！中野菊乃前理事長にお話させていただいた際、私の事を覚えていて下さり転職を受け入れていただけなのは奇跡というより運命と言っても間違いではないと感じています。巡り逢って本当にあるんですね。

定年まで残り数年となったこの年齢での転職は、色々な葛藤もあり大変でしたが、再出発して3年目の今の私は、毎日が新鮮でご利用者とのコミュニケーションで学ばせてもらえる事も多く、一人ひとりしっかりと関わっているかなと実感しています。「待っててね」「あとでね」は、相変わらず無くす事はできていませんが、最近は年相応の物忘れが多くなった私を、ご利用者もちゃんと受け入れてくれて、ハッと思い出して謝る私に「待ってたよ」「大丈夫だよ」と笑ってくれる事に日々癒されています。

高齢者介護と障がい者支援は別物と感じる方も多いかと思いますが、両方を経験することができた私は、相手を思いやる気持ちを持っていれば関われる仕事だと思っています。思いやる気持ちを大切にしながら今後も頑張っていこうと思います。



竜爪家族へ  
Q&A

好きなキャラクター：SNOOPY(50～60年代が特に好き)  
おすすめのお店：ネオパーサ清水、自宅から5分で行けて美味しいお店やミチドンキ等、部屋着で行ってもプチ旅行気分を楽しめます  
宝くじが当たったら：絶対誰にもばれないように普通の生活を送りながら制限のない生活を楽しみたい



笑いあえる日々感謝。

待ってたよ。大丈夫だよ。

Ryusou family Inaba Aki

# RYUSOU と生きる人 #11



支え支えられて  
今の私がここにいる

## 支えあう日々

ユニット型特養 風ユニット 介護職員 岡崎 千晴

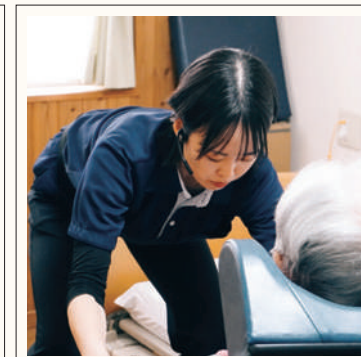
私は瀬名育ちで、山に囲まれた丁度いい田舎感が大好きです。幼少期、今は無きイワサキスーパーでお菓子を買い、梶原山をよく登りました。登る途中でみかん農家さんにみかんを頂いて食べながら行ったり、ハイキングしている年配の方とよくお話をしたこともいい思い出です。温かい人達が沢山いる、そんな瀬名で働きたいと、自然と考えていました。

大学4年生夏に竜爪園に採用が決まり、卒業までアルバイトをしました。無事卒業し、光ユニットに配属され、初めは時間に追われて業務内で終わらなかつたり、夜勤中オムツ交換や巡視するたびに排尿汚染して防水シートを7枚8枚一晩で変えたりと、大変だった記憶もあります。

そんな3交代制で働き続けて2年。結婚して子どもを授かることができたのですが、つわりが酷く、体調が悪くなることが多くなってしまい、パートに切り替えて働くことに。

そうして段々とお腹が大きくなってきた頃のこと、普段はご自分の話はあまり話さない女性のご利用者が「私はね、あんたぐらい若い時、お腹に(子どもが)いたけど流れちゃったんだよ、気をつけないとね」とお話してくれました。それだけでも嬉しかったのですが、それから、そのご利用者にコールで呼ばれて行っても「(介助するのは)あんたじゃなくて違う人を呼んできな」と言われるようになり、私のからだをよく気にかけてくれました。

2人目妊娠中も、フロアを往復している際に、男性のご利用者に「あんたもう座ってなあ、お腹の子の事も考えなよ」と声をかけられる事がありました。『THE 昭和の男』というイメージのご利用者だったため、私の事を心配してそんな言葉を掛けて下さるなんて…と正直驚きました。つつい仕事には無理してやってしまいそうな時もありましたが、その方の一言を思い出し、『少し休もうかな…』と、座らせてもらう事も度々ありました。今振り返ると、自分はお利用者を支えているばかりだと思っていたが、ご利用者に支えられて今があるんだなと思いました。これからもご利用者の生活を支えて、過ごしやすそうと思っただけの環境を作っていきたいと思えます。



好きなこと：体を動かす事！静岡マラソンに出たい！  
旅行。コロナで新婚旅行に行く予定だったけど行けなかったイタリアに行きたい！  
お勧めの店：ヒトヤ堂 人宿町にある泊まれる喫茶店  
宝くじが当たったら：豪華客船に乗って世界一周

Ryusou family Okazaki Chiharu

# #12 RYUSOU と生きる人

# RYUSOU♥ANIMAL FAMILY

my family no.5

今回は、竜爪園ファミリー  
山本さんと  
一緒に暮らしている  
アニマル家族を  
ご紹介します！



みかんやいちごなど  
フルーツが大好きだワン！

チャームポイントは、  
クリクリの目と、  
幼いころから残っている  
口周りの黒毛。



かんたろう  
柑太郎  
くん

豆柴（赤）  
4歳



## 拒否柴発動！？だけど、人のことが大好きです！

散歩中も歩きたくなくなると、伏せしたまま動かなくなります（よく拒否柴と言われるものです）。一人でボールを啜って遊んでいるので、遊んであげようとボールを投げるが、取りに行かず無視。そんなところも含めて、家族の癒しとなっています。普段呼んでも中々来てくれないが、自分が撫でてほしい時には「なでて〜」と言っているかのように寄ってきて、体をスリスリこすりつけてきます。

ハーブバックをしてもらいお風呂に入るとウトウト・・・トリミング中の写真、動画を送ってもらえますが、家では見せない笑顔に溢れています。他のわんこは苦手、散歩でいつも会うお友達と会っても、極力距離を取り避けています。その代わりに人は大好きで、ドッグランに行っても犬とは戯れず、知らない人に寄って行ってスリスリして撫でてもらっています。おそらく自分は人間だと思いついておられます。



## EPISODES

職員（RYUSOU FAMILY）の  
日々の疲れを癒してくれる家族を  
ご紹介！愛らしい姿に、皆さんも  
ぜひ癒されてください！

## イベントレポート REPORT

クリスマスは  
ワクワクドキドキの  
イベントがいっぱい！

### クリスマス



クリスマスに合わせて、各フロアでは職員が工夫を凝らしたさまざまなイベントが開催されました。一緒にパンケーキを作ったり、ハンドベルの演奏やゲーム大会を行ったりするフロアもあり、どこも賑やかなひとときとなりました。サンタクロースやトナカイに扮した職員がご利用者のもとを訪れると、「すごいねえ」と笑顔で迎えてくださり、皆様それぞれにクリスマスの雰囲気を楽しまれていました。

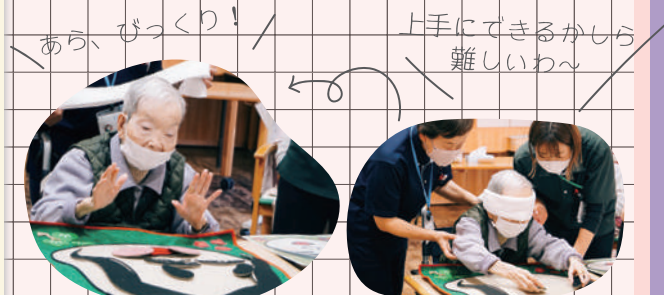
### お正月



竜爪園の館内各所には、たくさんのお正月にちなんだ装飾が施され、一気に新年らしい雰囲気に包まれました。毎年恒例となっている介助員手製の立派な門松も飾られ、華やかさを一層引き立てていました。ご利用者の皆様は、おせち料理を召し上がったたり、正月飾りを眺めたり、福笑いを楽しまれたりと、思い思いにお正月ならではの時間を過ごされていました。また、新年を迎えて「今年はどんな一年にしたいですか？」とご利用者にお伺いすると、「美味しいものが食べたい」「できることは自分でやるようにしたい」「穏やかに健康でいたい」など、皆様さまざまな抱負を聞かせてくださいました。



たくさん  
笑って楽しい時間を  
過ごします！



あら、びっくり！

上手にできるかしら  
難しいわ〜



## 美味しいは生きる力

美味しさをみんなで楽しむ



年末に、園内でもちつき大会を開催しました。杵と臼を用意し、ご利用者の皆様に見守られながら、職員一同、力いっぱい餅をつきました。会場には職員やご利用者の掛け声が響き、「がんばってついでね」「昔は毎年年家でやったんだよ」「きなこやあんこもいいけど、磯部も好きだねえ」など、たのしそうな声も聞かれ、にぎやかで温かなひとときとなりました。

つきあがったお餅は、栄養課職員の指導の下、安全に召し上がっていただけよう小ぶりのきなこ餅とあんこ餅にして、その場で提供しました。

つきたてのお餅は柔らかくして食べやすく、おかわりをされる方も多くいらっしやいました。

## 自宅で挑戦!

### 厨房人気メニュー

#### さつまい



《作り方》

- ① 生姜はすりおろしておく
- ② さつまい芋・人参はイチヨウ切り、ごぼうはささがき、葱は小口切、豚こま肉は一口大に切る
- ③ だしを沸かし、人参・ごぼうを煮る
- ④ 野菜が柔らかくなったら豚肉をほぐしながら入れる
- ⑤ 豚肉に火がとおったら、さつまい芋を入れてさらに煮る
- ⑥ さつまい芋が柔らかくなったら味噌を溶き、仕上げにすりおろした生姜の汁を入れる
- ⑦ 味見をして葱をいれて完成

《竜爪園ポイント》

- \* 竜爪園では、しょうが汁のみ使用していますが、すりおろした生姜をそのまま入れても美味しく食べることが出来ます!
- \* 野菜の量をお好みで増やし更に具たくさんにすることで、満足感がアップします!
- \* 仕上げに生姜を入れることで香りが残り、身体も温まります!

#### 材料 (4人分)

人参 (小ぶり)	1/4 本
さつまい芋 (中)	1/2 本
ごぼう	1/3 本
豚肉こま切れ	50g
葱	お好み量
生姜	1 かけ
みそ	大さじ 2 杯
だし汁	600 c c (3 カップ)

お家で作ろう!



竜爪園のあれこれをサポートします!



Team

### 法人本部

Corporate headquarters

法人本部では法人全体の財務、人事、総務などの業務を中心に、各事業所の運営をサポートしています。また、職員がより働きやすくなるような取り組みを検討しています。

# RYUSOU TEAM WORK



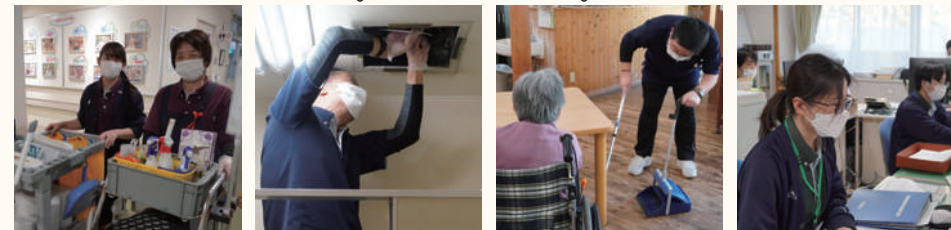
## Q 法人本部のお仕事って?

法人本部では、事務員が7名、宿直員が2名、清掃洗濯員が8名で構成されています。法人事業が円滑に運営できるよう、職員それぞれが協力し業務にあたっています。幅広い業務の中で主な業務を紹介させていただきます。

- 来客対応・備品管理  
来客には笑顔で応対し、必要に応じて湯茶接待を行っています。介護フロアで使用する物品・消耗品の管理や、ご利用者の嗜好品購入を担当しています。
- 人事・給与  
職員の入退社に伴う社会保険・退職共済の手続き、雇用契約書作成、健康診断調整を行っています。昇給・賞与のシミュレーション作成や支給手続きも担当しています。
- 人材確保・研修  
法人のアピールポイントを作成し、求人サイト掲載や学校訪問説明を行っています。職員の研修参加の際は、出張命令書作成、宿泊手配、旅費交通費・参加費等の準備を行っています。
- 会議資料・保険請求  
月1回の法人経営会議や理事会の資料を作成しています。介護報酬の請求業務を取りまとめ、国保連への請求とご利用者の一部負担分請求を行っています。
- 会計処理  
日々の会計伝票の作成・入力や、各事業の経営状況分析を行っています。
- 施設運営サポート  
24時間営業のため、宿直員が夜間の電話対応を担当しています。清掃員による居室・トイレ・換気扇の清掃、洗濯機によるご利用者の衣類洗濯・返却業務もサポートしています。

### 職員の方で困ったことや、要望がありましたら遠慮なく事務員に声をかけて下さい

法人本部では、通常の業務とは別に職員が扶養内で働きたい場合の、勤務日数や年収の壁や育児介護休業制度等の相談を承っています。その他にも、何かありましたらお気軽に声をかけて下さい。





Ryusou interview

## この場所で。 働く選択をすること

※紹介した人望月さん(写真右)、紹介されて入職した人角鹿さん(写真左)  
一人ひとりが、それぞれの想いを持ってこの場所を選び、日々働いています。ご利用者との何気ない会話や笑顔、共に過ごす時間の中で感じる喜び。そして、仕事のこと、家族のこと、これからのこと。職員たちの等身大の声から、この場所で働く意味が見えてきます。リファラル採用(職員紹介制度)について、インタビューしました。

職員紹介制度を利用したきっかけは？

望月：角鹿さんとは短大の同級生で、卒業後も定期的に会っていました。角鹿さんは仕事に対してとても熱心で、一緒に働いたら角鹿さんから学べることも多く、私も成長できると思いました。気兼ねなく相談でき、お互いに協力しながら仕事ができるし、声かけました。

角鹿：卒業後もお互いの仕事について相談する中で、竜爪園でのイベントや前理事長のお人柄について聞いていて、前々から「良い施設なんだなあ」と思っていました。望月さんは竜爪園、私は介護療養型の病院に勤めていたので共通する点も多く、仕事の悩みも相談できる関係でした。数年前からいつか高齢者施設で働きたいとも思っていましたし、望月さんから声をかけてもらったことが、紹介制度を利用するきっかけになりました。

Q どんな風に紹介しましたか？

望月：竜爪園では、角鹿さんの仕事である歯科衛生士という職業を、口腔や食べることに関わる専門職であることを、施設全体で理解し、大切に思っていることを伝えました。

Q 入職してどうでしたか？

望月：想像以上です！ 本当に頼りになります。角鹿：仕事内容や雰囲気についても、事前に望月さんから説明してもらっていたので、ギャップはありませんでした。今は、歯科衛生士の仕事だけでなく、広報という仕事も任されています！

Q この制度の良さは？

望月：チームワークの良い竜爪園では、上司や同僚にも相談がしやすいので、この制度を使って人を紹介していくことにも抵抗はありませんでした。「紹介したい人がいる」と上司に相談する、「ここにかく一度、施設見学をしてみよう」と積極的です。

角鹿：聞きやすい人が同じ職場にいて、ありがたいなあと思います。困っていることやわからないことを丁寧にしっかり教えてくれるので、おかげさまで、安心して働いています。

Q お互いにメッセージを

望月→角鹿さんへ：これからも楽しくお仕事していきましょう。

角鹿→望月さんへ：

いつもありがとうございます。出会ってからもなかなか16年(書いて驚きます)。お世話になりました。これからもよろしくです！

一緒に働けてとても楽しいです！



角鹿さん 望月さん

### リファラル採用(職員紹介制度)

リファラル採用とは、職員の皆さんに、ご自身の知人やご友人で、「当法人で活躍できそうな人」をご紹介いただく採用方法のことです。人と人のご縁を通じて、一緒に働いてくれる仲間を探しています。紹介を検討されている方は、お気軽に法人本部に声をかけてください。

## ほっぴんポイント vol.3

竜爪園で働くスタッフと、ご利用者との会話の中から生まれた、「ほっぴんポイント」をご紹介します。竜爪園の心が温まるポイントの数々をお楽しみください。

食堂でカラオケが終わるとある利用者が「両替町に飲みに行くぞ」と言われたので「一緒に行っても良いですか?」と何うと、笑顔で「一緒に行くぞ」とお返事をして下さいました。



● 工作中、忙しく大変そうな私の行動を見て、「大変だね。色々な人がいるから。良くやってくれるのはわかっているから、気にしないでいいよ」と、ご利用者から逆にねぎらいの言葉を頂きました。

## 編集後記

### 今月の編集室より

年末年始はイベントが続き、施設内は明るくにぎやかな雰囲気になりました。今回の「TADAIMA RYUSOU vol.6」では、の様子も少しお届けさせていただきました。広報としてイベントに携わり、ご利用者の皆様のご様子を拝見していると、イベントごとに對してソワソワ、わくわくする気持ちは、老若男女を問わず共通なのだと感じます。穏やかな日々も大切ですが、時にはちょっとした刺激も良いものですね。本誌は次号で一周年となりますが、皆様の日常と非日常、そしてそれを支える職員の姿を、これからもお伝えしていけたら嬉しく思います。

広報企画委員 角鹿 亜紀

たくさんの笑顔を  
生み出す瞬間を  
取材していきます！



<https://www.love.or.jp>

発行日：2026.2.15

special thanks  
ご寄付者様、  
ボランティア様のご紹介

恒友会様/すみれ会様/杉山敏子様/矢口美広様  
西沢悦子様/伊久美勝久様/小林謙太様  
JA 静岡市瀬名女性部様/常葉大学・静岡福祉大学  
静岡県立大学等の大学生・高校生の皆様

ありがとうございました。